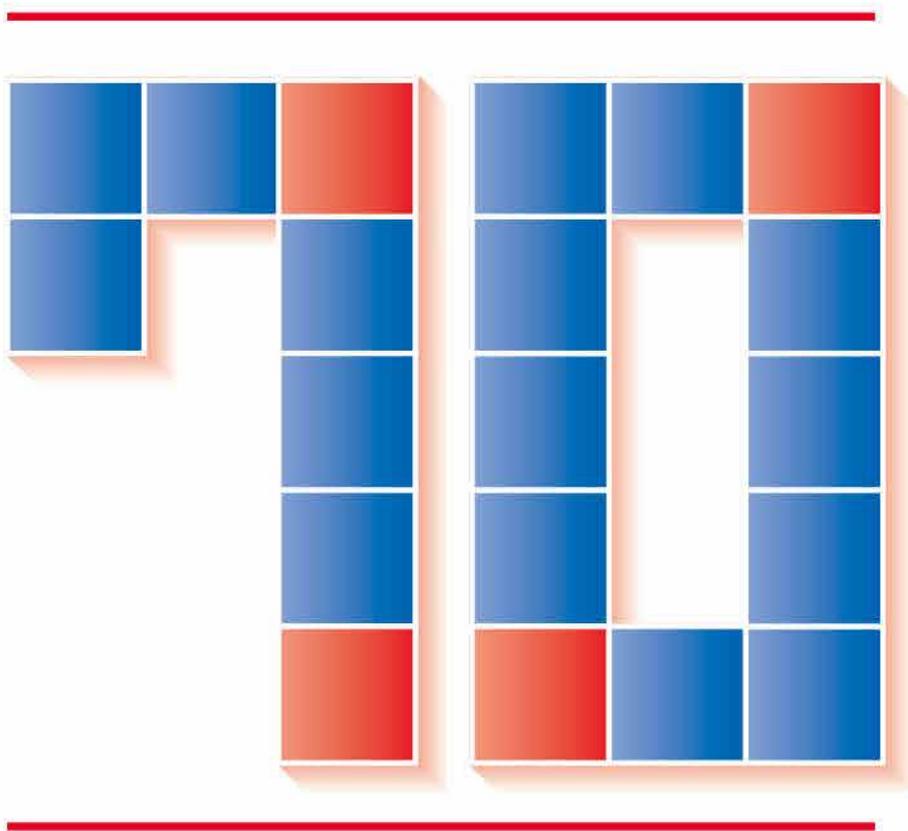


旅ひとすじ

創業70周年記念誌



夢、旅、思い出づくり。

株式会社 日本交通社

◆ 株式会社 日本交通社の歩み ◆

◆ 創業70周年

昭和31年8月 創立 (大阪市)相原経之代表取締役
(松山営)町田珠江所長

◆ 中興60周年

昭和41年4月 入社 中村剛志(社員1名)

◆ 創立50周年

昭和50年12月 独立 中村剛志代表取締役(社員12名)

ごあいさつ



社 主 中村 剛志

株式会社日本交通社は昭和31年に相原経之社長（重信町出身）によって大阪で創業され、同時に松山営業所が町田珠江氏（社長の姉）のもとこの地に開設されて以来ちょうど70年を迎えました。これもお客さまはじめ業界各位のご支援、ご指導の賜と感謝すると共に厚く御礼申し上げます。

開設当時はまだ旅行人口も少なく苦難の時代でありましたが、私の入社しました昭和40年代は新幹線の整備、高速道路の開通、大型フェリーの就航と旅行環境が整備され大阪での万国博覧会で爆発的な旅行ブームとなり、私達にとっては高度成長期の申し子とも言えるよき時代でありました。

そして昭和50年代は松山営業所が独立し一人歩きを始めました。旅行業専門業者で四国で初めて「一般旅行業」登録の認可、東亜国内航空、全日空、日本航空の代理店取得、本社ビルの完成と総合旅行者として一応の体制を整えることが出来ました。

しかし平成3年の湾岸戦争、翌年のバブル崩壊により旅行業界は冬の時代となりました。

特に近年は団体旅行から個人旅行へ志向。そしてインターネットの急速な普及・発展による業者離れ等々、そして予想していたとは言え少子化による修学旅行生や市町村合併による自治体数の減少による団体客数の減少、更に追い打ちをかけたコロナ禍等々により、大手旅行者の店舗（カウンター）は全てなくなり旅行業界は大変な時代を迎えています。

「旅行者は減っているけど旅行者はもっと減っているチャンスだ」「不況業種と言えども必ず好況の会社はある」と信じてこの厳しい時代を生き抜いて参りたいと思います。

今後共、何卒ご愛顧、ご指導下さいますようお願い申し上げます。

目 次

◇ごあいさつ 70周年にあたって…………… 社主 中村 剛志

1.創業者（相原経之社長、町田珠江所長）……………	1
2.社訓、会社概要……………	2
3.沿 革……………	3
4.70年の歩み 1.昭和31年～昭和40年……………町田珠江……………	5
2.昭和41年～平成6年……………中村剛志……………	6
3.平成7年～平成14年……………浜野勝久……………	10
4.平成15年～平成20年……………中岡 優……………	10
5.平成21年～平成25年……………浜野勝久……………	11
6.平成26年～平成28年……………中村剛志……………	11
7.平成28年～……………光田秀之……………	12
5.社員紹介……………	13
6.事務所の移りかわり……………	19
7.思い出のアルバム……………	28

創 業 者



社長 相原 経之氏



所長 町田 珠江氏

故相原 経之氏 (昭和31年～昭和43年)

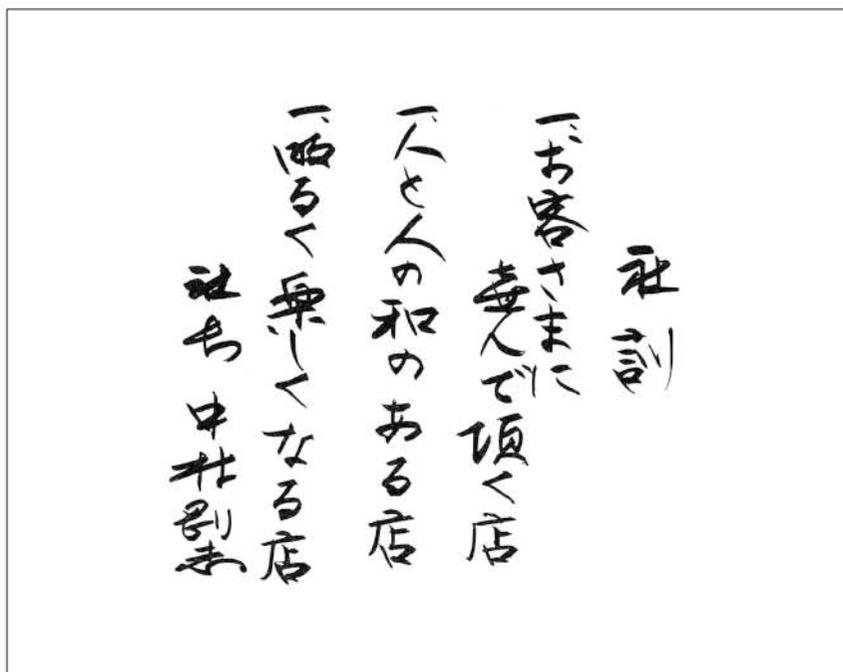
北尾 稔氏、武内 義雄氏等と株式会社日本交通社を創立、京都大学卒業の異色の社長で、大阪府の旅行業界をリードする大物社長であった。

相原社長が育てた人材は多く「相原学校」の卒業生として大阪の業界で活躍した人も多かった。

昭和43年3月惜しまれつつ若くして他界した。

故町田 珠江氏 (昭和31年～昭和45年)

相原社長の実姉で砥部町に在住、会社創立と同時に松山営業所を開設、愛媛相互銀行在職中に鍛えた営業手腕で15年間に渡り営業所を運営、「男の人に負けるか」がロゴセのファイトウーマンで粘りと押しの強さで素晴らしいセールスを展開し、むつかしい初期の旅行業界において活躍し、現在の日本交通社の基礎を築いた。



(恩師 中田三鶴先生書)

会社概要



夢、旅、思い出づくり。

- 〔設立〕 昭和50年12月24日（創業昭和31年）
 〔資本金〕 5,000万円
 〔営業所〕 本社 松山市勝山町1丁目18-10 日本交通社ビル1階
 【個人旅行】 ☎(089) 946-3911 📠(089) 933-1616
 【団体旅行】 ☎(089) 931-6060 📠(089) 941-6211
 大洲営業所 大洲市菅田町字津甲1922
 ☎090-1008-3106
- 〔登録〕 国土交通大臣登録旅行業第一種613号（昭和57年4月3日）
 〔代理店〕 (株)日本航空、全日本空輸(株)
 〔役員〕 社 主 中村 剛志
 代表取締役 光田 秀之
 取締役会長 田村 剛
 取締役専務 中村 佑志
 取締役部長 一色 佳世、本田 充
 監査役 中村 千春
- 〔社員〕 22名
 〔所属〕 日本旅行業協会、愛媛県旅行業協会

沿 革

創業

- 昭和31年 8月 株式会社日本交通社(本社大阪市)設立。社主 相原経之、代表取締役
北尾稔就任、松山営業所開設、所長 町田珠江就任
- 昭和35年 3月 本社代表取締役に武内義雄就任
- 昭和40年10月 本社代表取締役に相原経之就任
- 昭和41年 4月 中村剛志入社(後継者として)
- 昭和43年 4月 相原経之社長死去により代表取締役 相原盈子就任
- 昭和46年 1月 松山営業所代表取締役所長 中村剛志就任
- 昭和46年 5月 松山営業所を松山市道後一万町2-19へ移転
- 昭和47年 2月 本社代表取締役に岡田潔郎就任
- 昭和48年 9月 西武トラベル(株)代理店 運輸大臣登録旅行業代理店業第1548号認可
海外旅行取扱い開始
- 昭和50年 4月 松山営業所を松山市勝山町1丁目19-3 青木第一ビル1階へ移転新
装オープン披露パーティを開催

創立

- 昭和50年12月 株式会社日本交通社四国本社設立、資本金500万円
代表取締役 中村剛志就任
- 昭和51年 3月 愛媛県知事登録 国内旅行業第48号認可
- 昭和51年 7月 西武トラベル(株)代理店、運輸大臣登録旅行業代理店業第1952号認可
- 昭和51年10月 資本金を1,000万円に増資
- 昭和54年 6月 東亜国内航空(株)代理店取得、航空券発売開始
- 昭和55年 2月 松山市湊町3丁目8-1(銀天街ニチイ前)にハネムーンセンター開設
- 昭和55年 3月 創業25周年記念パーティをホテル奥道後にて開催
- 昭和56年 9月 一般旅行業登録取得を目指し社名を株式会社日本交通社と改称、資
本金を4,000万円に増資
- 昭和57年 2月 一般旅行業登録基準引上げの為、資本金を5,000万円に増資
- 昭和57年 4月 運輸大臣登録一般旅行業第613号登録認可
- 昭和58年 4月 全日本空輸(株)代理店取得、航空券発売開始
- 昭和58年 6月 本社ビル完成。本社を松山市勝山町1丁目18-10 日本交通社ビル
1階に移転

昭和61年 2月 創業30周年記念パーティを道後国際ホテル大和屋にて開催
昭和62年 1月 迎賓館ハネムーンコーナー開設、所長 近藤多恵子就任
昭和63年 1月 双海営業所開設、所長 三井典行就任
昭和63年 4月 (株)日本航空代理店取得、航空券発売開始
平成 2年 3月 創業35周年記念感謝の船運航 (宮島)
平成 4年 4月 大洲支店開設、支店長 中岡優就任
平成 7年 2月 代表取締役社長に浜野勝久就任
平成 7年 3月 創業40周年記念感謝の船運航 (大三島)
平成 7年 3月 創業40周年記念パーティをホテル奥道後にて開催
平成11年 7月 本社隣接地取得 (130坪) ビジネスホテル建設予定
平成11年 8月 銀天街トラベルプラザを本社へ統合
平成12年 3月 創業45周年記念感謝の船運航 (大三島)
平成14年11月 中村剛志 砥部町長に就任
平成15年 1月 中村剛志社主、浜野勝久会長、中岡優社長の体制となる
平成17年 3月 創業50周年記念感謝の船運航 (宮島)
平成17年12月 創業50周年記念パーティを松山全日空ホテルにて開催
平成18年 2月 隣接地売却、ホテル建設断念
平成21年 1月 代表取締役社長に浜野勝久就任、田村剛常務体制となる
平成25年 2月 中村剛志 砥部町長退任、営業手伝いとして復帰
平成26年 1月 代表取締役社長に中村剛志就任
平成28年 1月 田村剛、光田秀之 二常務体制とする
平成28年 3月 創業60周年記念パーティを国際ホテル松山にて開催
平成28年 4月 代表取締役社長に光田秀之就任
令和元年 4月 取締役会長に田村剛就任
令和 3年 4月 専務取締役に中村佑志就任
令和 7年 8月 創業70周年記念祝賀会を道後温泉ふなやにて開催

70年の歩み(1)(昭和31年～昭和40年)

故町田珠江

光陰矢の如しとか申しますが昭和31年夏に旅行業を思い立ちまして夢の様に月日が経ってしまいました。

何も分らず乍ら、当時は業者も少なく盲目蛇におじずのたとえの如く、無我夢中で始めました。年明けて最初の仕事が或る村会議員の視察を兼ねた慰安旅行で九州一周に近いものでした。時刻表と首引きで一生懸命コースを作って持参致しました処、交通公社で作ったのと同じに出来ているので、あなたの方を選びますと云われ大喜びで周遊券を持って行きました。

コースがとても良いと思ったものですから募集した処、30数名参加して周遊券を作ってもらって出掛けましたが、駅の改札口で30何名を周遊券に誰が作ったのかとブツブツ云われ、何であんなに云われたのか私には訳が分かりませんでした。後で30名から団券になる事が分りなるほどと思いました。

お恥しい事ですが私はどこも旅行等行っておらず、何も知らんのに添乗員として腕章をつけたり旗を持って行くのが恥しくて、列車の中でも腕章をつけたりはずしたりしていたそうです。その時のお客様は今もよくお話が出るので、あの時が私の旅行の手始めだったと云いますとびっくりされました。

その頃はどこへ行っても道が悪くまだまだ開通してないので列車で行っては観光地でバスに乗ると云う事でした。九州一周も指宿等はまだ名前も知れてなく南は鹿児島迄でした。最初の九州一周5泊6日で旅費が8,500円だったと思います。1泊2食の宿泊料が500円で上等、350円位だったと思います。

大阪本社と合流でお座敷列車で色々に行きました。流石に広い大阪駅の北口もお座敷列車で出発する時は日本交通社のお客様で一杯でした。北海道等も始めのうちは列車で廻り、現地で観光バスと云う具合、白老等馬車で行きました。今ではどこへ行くのも貸切バスで行きますけど、お座敷列車で廻りますと、行く先々で楽隊で迎えられたり、花火・爆竹や紙吹雪・花束贈呈等と大変な歓待でした。又、その当時は女の添乗員は少なく、色々と失敗を致しましたが何とか済ましてもらいました。

今更乍ら御迷惑をかけた事、申し訳なく思っています。取止めもなく思いつきばったりでお恥しい次第ですけど筆をおさめさせていただきます。

皆々様の温かい厚い御支援を頂き大禍なく過しました事、誠に有難うございました。日本交通社の今後の御発展と社員御一同様の御健康と御多幸をお祈り致します。

平成7年3月記

70年の歩み(2)(昭和41年～平成6年)

中村剛志

1. 入社のきっかけ

昭和38年3月県立松山商業高校を卒業と同時に伊予商運株式会社(一般旅行業第481号)に入社。関西汽船全盛の時代で乗船券の発売、乗船客の誘導など代理店業務が主な仕事で、暇々に海の記念日ツアーや修学旅行、会社の慰安旅行などを取り扱っていました。集客した団体は自分で添乗出来るのでそれが楽しみで時間を割いてはセールスに出かけていました。

ある日、通学中よりいつも同じバスに乗り合わせていたご婦人が切符を買いに来られました。女性でありながらいつも背広を着て、カバンを提げていたので珍しく特に印象に残っていましたが話したこともなく、学校の先生か保険のセールスの人かなと想像していた人です。「おばさんいつも原町から乗っているでしょう」が話のきっかけで「日本交通社」という旅行会社をしている町田さんと初めて知りました。

昭和39年夏頃より「中村さん旅行の仕事をやってみる気はない？私も歳だから2、3年したら譲るけん、後をやって…」とお誘いをうけましたが私は今、会社に特別に不満もないし、入社した以上はせめて3年は勤務しなければとお断りしたが、それなら3年経ったら来てくれと熱心に誘ってくれました。小さい頃から自分で商売をやりたいと思っていましたので松商に進学しましたし、「旅行業」は魅力があり、自分の力が最大限発揮できる道と確信し昭和41年2月「会社が嫌で退めるものではありません。私の力を試してみたいのです。我俣を許して下さい」と辞表を提出しました。涙がこぼれて仕方なかったのを思い出します。3月20日付で伊予商運(株)を退職しましたが新入社員が慣れるまでと言うことで4月20日までお手伝いをさせて戴きました。

2. 昭和41年～昭和45年

(株)日本交通社松山営業所にいよいよ入社(22才)これからは自分で稼がねば(利益の折半という条件であった)と思うと身震いする程の興奮を覚えました。事務所は銀天街の裏通り、中道陳列店の2階にあり、会社は町田所長と私の二人で午後から商大生の相原經典君(町田所長の甥)がアルバイトで来てくれていました。

まず、この仕事に賭ける為、伊予商運時代の貯え全財産と父親から借りた大枚「26万円」で「足」となる「キャロル」という中古の軽四を買入、決意も新たに旅行のセールスに取り組み今までの倍くらいの年収40万円を獲得しました。次年度からは自分が会社を引受けた時の事も考えて「人材集め」を開始、経験者に何とか来てもらおうと努力をしましたが自分自身の力がないうえに会社の歴史はありましたが松山での実

績は今一步で一人もスカウトすることは出来ず失敗に終わりました。

それではと経験はなくとも旅行の仕事をやってみたいと情熱のある人と言うことで宮内さん、種植さん、音田君に順次入社してもらいようやく事務所にも活気が出て来て実績もうなぎのぼりとなりました。45年の万国博で爆発的な旅行ブームがおこりこれを花道に町田所長が引退することになりました。

3. 昭和46年～昭和50年

「若さとのれんと信用」のキャッチフレーズを掲げて船出（26才）社員は種植さん、宮内さん、音田君と私の4名でスタート。まず考えたことは古い体質から脱皮するため、①社員を歩合制から給料制に移行②経理の明確化③事務所の移転（1階）の三点を実施することにしました。

一番頭を痛めたのは事務所の移転で結局、昭和46年5月に上一万へ移転、当時はマイカーでの道後温泉への入込客が多く宿泊手配で家賃位はまかなえると予想して選びました。その選択は成功し、家賃以上にかなりの収益をもたらしてくれました。

昭和48年には西武トラベル(株)代理店として海外旅行業務に進出、昭和50年4月には会社の安定を計る為カウンター業務の強化を目指し勝山町に新築された青木第一ビル1階に事務所を移転し、披露パーティを開きました。社員も12名となり一致協力「モーレツセールス」を展開し、オイルショックも問題とせず当社の高賞与は業界の話題となり、つとに名を知られる存在となりました。

4. 昭和51年～昭和55年

大阪本社と会社の将来について話し合いましたが我々の航空代理店や一般旅行業登録の取得を目指す積極経営論が理解されず己むなく分離独立することになり、(株)日本交通社四国本社を設立、国内旅行業愛媛県知事登録第48号、旅行業代理店業運輸大臣登録第1952号を取得し営業を開始しました。

昭和52年10月私の右腕ともたのむ種植専務の独立問題が発生、翻意してもらおうべく説得をつづけましたが結局、種植専務以下4名が行動を共にし去って行きました。どこが悪かったのかと反省すると共に「人は生まれたら死ぬ、入社した人もいずれは去る」のが摂理と自分にいい聞かせました。

試練に立たされましたが移転の目論見通りカウンター売上が増加した事と伊予鉄観光社を定年退職した村上氏をスカウトしたお蔭でダウンすることもなく、昭和54年には東亜国内航空の代理店を取得、記念に募集した「ハッピーツアー南九州」は往復飛行機利用でホテルに2泊、料金は29,800円の格安商品で2ヶ月間で1,600名集客という大ヒット商品となりました。又、昭和55年2月にはカウンター部門強化の為、松山市のメインストリート銀天街にハネムーンセンターを開設、年中無休の、カウンター専門店松山では初めてでした。銀天街への出店は入社した時からの一つの目標でもあ

りました。

5. 昭和56年～昭和60年

昭和57年2月には伊予鉄観光社を定年退職した井門氏をスカウト、売上げにも大貢献してくれました。同年4月には念願としていた一般旅行業登録（第613号）を取得。前年の8月より運輸省に何度となく足を運び自力で取得しただけに喜びはひとしおでした。

続いて昭和58年4月には全日空代理店の取得、そして昭和58年6月には入社来の夢でありました本社ビルの完成、立地も前営業所の斜前で申し分なく事務所も十分なスペースがとれオフコンを導入し、業界で初めてコース表と見積書が同時プリントできるシステムを完成しました。

本社ビルの完成、一般旅行業登録、全日空代理店の取得といろいろな人々のご協力、ご支援でこの5年間で会社の形を整えることが出来ました。

6. 昭和61年～平成2年

昭和61年2月には30周年行事としてゴルフ大会、パーティを催させて頂きました。

特にパーティは会場が割れんばかりの超満員のお客様をお迎えして私達に激励を頂き素晴らしいスタートをきらせて頂きました。

同年11月には南西航空（現日本トランスオーシャン航空）によって沖縄便が開設され積極的に取り組んだお蔭で以後永年に渡り30%のシェアを確保、「沖縄は日本交通社」の評判を得ることができました。

航空会社同士の競争も激しくなり各旅行会社がそれぞれのカラーに染められた時代でもありました。

海外旅行は国の「テンミリオン計画」（昭和61年に海外旅行者倍増計画を発表5年後に1,000万人の海外旅行者を目標にした。）もあり急速に普及、好景気にも恵まれ我々業界にとっては第3次旅行ブームとも言うべき良き時代で、当社も迎賓館ハネムーンコーナー、双海営業所、東京営業所と積極的に店舗展開をした時期でもありました。

又、平成2年3月には関西汽船「はやとも」をチャーター、35周年記念行事として宮島へ「感謝の船」を運航。720名のお客様に瀬戸内海クルージングを楽しんでいただきました。

7. 平成3年～平成6年

平成3年は湾岸戦争により海外旅行の取消し続発、停戦後も海外旅行は戻らず、順調であった海外旅行は過去最大の減少となりました。

平成4年には「バブルの崩壊」により経済不況に陥ると共に俗に言う「安、近、短」旅行が増加。松山地方への影響は若干遅れ平成5年頃より不況色が濃くなり、「価格破壊」現象も出現し、安いものしか売れないうえに、平成6年の異常渇水、本年1月

の「阪神・淡路大震災」と天災があり、本当に厳しい冬の時代に突入しています。

海外旅行は平成3年に新松山空港がオープンしJTBはじめ大手10社と当社を含めて地場6社の一般旅行業者の共同運航により毎年約60便のチャーター便を運航。そしていよいよ本年4月より松山空港よりソウルへの定期便が開設され手軽に海外旅行が楽しんで頂けるようになります。

当社は今回の組織改革により私の永年の夢でありました元気なうちは一生働ける会社づくり「悠々倶楽部」(顧問団)制度を発足し永年に渡り会社に貢献して頂いた熊本、仲嶋、村上、乗松の諸先輩には、高所よりご指導頂くことになり、今後は浜野・中岡新体制で若い人中心の会社運営となり私共では日本交通社の「平成維新」と位置づけています。

8. 今後の旅行業界について

大衆旅行時代の幕あけ(昭和39年)から30年。企業30年説もある通り、旅行業界も大きく変わろうとしています。本年の6月頃には旅行業法の大改正も予定されております。

今後も海外旅行の増加は見込まれますが海外旅行の価格は30年前、20年前と変わっていません。どちらかと言えば安くなっています。

もちろん大量輸送時代ということもありますが今までは顧客需要の拡大に支えられて何とかやって来れましたが、ここにして消費不振もあり低収益率体質と相まって、「構造不況」業種になっていることは間違いありません。

これからは今まで以上にお客様を大切に、今まで以上にお客様のニーズに合った商品開発に取り組み、日本交通社でなければ(オンリーワン企業)と言われるような会社を目指さなければ生き残ることは出来ないと思っております。

社長と社員の約束

◎日本交通社の社長は

社員と共に歩む、社長

1. 社員の生活の場を守り抜きます。
2. 時代にマッチした経営を行います。
3. 明るく陽性経営者になります。
4. 値打ちは業績と心得ます。
5. 明朗会計で稼いだ利益は皆んなに配分します。

◎日本交通社の社員は

喜働集団

1. 感謝の気持ちで心からのサービスをさせていただきます。
2. 明朗、活発に生き生きと社内の活性化に努めます。
3. 思いやりと協調性をもって楽しい職場にします。
4. いつも目標を明確にし、その目標は必ず達成します。
5. 皆んなに好かれ重宝がられる好感度人間になります。

平成3年1月に作成〔日本交通社旅のマニュアルより〕

70年の歩み(3)(平成7年～平成14年)

代表取締役社長 浜野 勝久

平成7年社長就任時はバブル経済がはじけて厳しい経済環境にありましたが、まだまだ企業の団体(慰安)旅行もかなりの数がありました。平成8年から始まった金融危機とデフレ経済の進行と共に企業の団体(慰安)旅行(福利厚生費)が激減してゆき、個人の募集旅行の低価格化を招き、旅行業界は非常に厳しい状況に陥りました。

これらの状況を打破するために平成10年より修学旅行の取扱に本格的に参入し、現在では小学校16校・中学校11校・高校3校と大きな柱に育ちつつあります。ただ、これも少子化の影響を受けるのは確実で、高校の修学旅行の数を増やす必要があらうと思います。

平成13年(2001)9月11日の米国同時多発テロに始まる米国のアフガニスタン・イラク侵攻(戦争)やサーズ・鳥インフルエンザ・スマトラ沖地震の発生(自然災害)などは、海外旅行のお客様の減少となって表れ、旅行産業がいかに平和産業であるかを思い知らされました。

社長在任中、多くのお客様・受入施設、運輸機関の皆様そして素晴らしい社員に恵まれ、厳しい時代を共に生きることが出来ました事に深謝いたしております。

70年の歩み(4)(平成15年～平成20年)

代表取締役社長 中岡 優

私が社長に就任した平成15年頃はまだまだバブルの後遺症があり旅行業が低迷した時代でした。特に公共事業に携わる建設業関連会社の研修、慰安旅行等の国内旅行は大きな影響を受けました。

一方、海外旅行では平成16年より新規に中国(上海)への定期便が就航しました。当社は早くから中国へのチャーター便等で取り組んでいた関係から、そこそこの実績も残せましたし、有望市場として毎週出発できる中国旅行を設定しました。又、平成17年には愛媛県下71市町村が平成の大合併により僅か20市町村に再編されました。

個体数が減るという事は即ち団体旅行数が減ることで我々は大きな影響を受けました。まさに「受難の平成大合併」と言えるかも知れません。そこで当社は景気に左右されない教育旅行(修学旅行・研修旅行)関連の集客に力をいれました。今日の当社が有るのも安定的継続制の見込める教育旅行関連に力を注いだ結果だと思われれます。

海外旅行については近隣諸国の政情不安等の影響が大きく突然の運行休止や減便の影響もあり十分な販売が出来ない状況でした。今もこの問題は残っています。旅行形態は変わってもこれからも旅行需要は益々増えると思われれます。どうか末永く日本交通社をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

70年の歩み(5)(平成21年～平成25年)

代表取締役社長 浜野勝久

前年のリーマン・ブラザーズ倒産(リーマンショック)で世界経済は低迷しており、また、日本経済はデフレがますます進行して、厳しい経済環境となっており、旅行業界も安価さを競う状況に陥っておりました。

平成23年(2011)3月11日東日本大地震が発生し日本中が自粛ムードとなり、九州への旅行までが中止になるなど自粛は秋まで続いて当社にも多大な影響がありました。秋頃から「東北に旅行するだけでも復興支援になる。」と全国民が認知して、自粛ムードから一転して復興支援で東北旅行が多く発生いたしました。現地に行つて(テレビで見たのを思い浮かべながら)現場に立つと広範囲にわたって、もの凄い津波が襲った事を実感し、早く復興してもらいたいと祈るばかりでした。

平成24年(2012)尖閣列島国有化で中国の反日デモが起こり、中国に対する嫌厭が拡大して、中国への団体旅行が皆無となり、韓国では朴大統領が生まれ「慰安婦」問題で日本と対立して韓国への団体旅行が激減しました。これらに代わり3泊4日で行けて親日家の多い台湾への旅行が激増したのは有り難いことでした。これが平成26年11月～12月愛媛県要請の台湾へのチャーター便4本(松山空港チャーター推進連絡協議会の会員会社13社・会長 日本交通社)が、ほぼ満席で成功した要因の一つであったと思います。

平成25年(2013)済美高校が安楽投手を擁して春・夏の甲子園に出場しました。優勝してもらいたい思いで一杯でしたが、春は決勝戦まで勝ち進み、残念ながら準優勝となり、期待された夏は2回戦敗退となりました。久しぶりの甲子園出場でしたので、全社挙げて取り組み、会社が一つにまとまったと実感いたしました。

70年の歩み(6)(平成26年～平成28年)

代表取締役社長 中村剛志

平成25年「〇〇を退任したものの就転難で元の会社に戻りました。」仕事は営業手伝いです。オーナーとして営業の手伝いをして思っていました。20年振りに社長に復帰しました。役目は後継者(次期社長)選びです。浜野社長、中岡社長で相談して決めてほしいとお願いしていたのですが……。旅行業界はこの10年間で大きく変わりました。当社も全盛時から比べると社員数も売上も半分になりました。廃業した旅行業者も少なくありませんし、友人のほとんどは業界を引退しました。ダーウィンの進化論ではありませんが時代に合った経営(お客様に必要とされる)でいかに厳しい時代であっても必ず生き残る気持ちでこの二年間頑張ってきました。お蔭さまでいい決算もさせて頂き、業務改善も進んで参りました。「何時ももっと良くなる方法はないか」を考え続ける日本交通社でありたいと思います。

70年の歩み(7)(平成28年～)

代表取締役社長 光田秀之

私が社長に就任した令和28年4月の熊本地震、令和30年4月の西日本豪雨、8月の北海道胆振東部地震、令和6年1月の能登地震など近年は多くの「自然災害」が発生しました。その中でも令和2年(2020)、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大(パンデミック)により国際交流の停止はもちろん移動の自粛などの行動制限を余儀なくされ、旅行がほぼ消失するなど観光・旅行業界は未曾有の事態に直面しました。当社も経営は危機的状況に陥り売上は70%減まで落ち込みました。自助努力で経費を大幅に削減するとともに、休業による助成金の最大限の活用や様々な支援制度を精一杯活用し、社員18人全員の雇用を守り抜きました。かなり辛いコロナ禍でしたが経営を“スリム化”でき、今思えば今後の日本交通社において、良い意味でプラスの出来事だったと捉えています。

当社主力の団体旅行においては企業・法人はもちろんですが、町内会や老人クラブ、消防団、民生委員、土地改良区など“地域に根付いた”団体営業を得意とし、お客様と一緒にオリジナルの楽しい旅を企画・催行しています。そして売上高の約3割を占める教育旅行(約50校の修学旅行)は、例年当社の安定財産となっています。

また済美高校の甲子園、松山聖陵高校のラグビー、松山北高校のサッカーなど全国大会応援ツアーが多いのも当社の強みとなっています。

旅行会社は“夢を売る商売”だと思います。地域の皆様がいつも笑顔で過ごせるように、これからも「昔ながらの親切な旅行屋さん」として皆様のそばに寄り添い、すばらしい「非日常＝旅行」を堪能いただき、そのお世話係であり続けていきたいと思っております。

社員紹介（役員）



役職、氏名 社主 中村 剛志
入社年月日 昭和41年4月
趣 味 ゴルフ、麻雀（ボケ防止）、酒
モットー いつもニコニコ
 ハイヨロコンデ人生



役職、氏名 代表取締役社長 光田 秀之
入社年月日 平成7年4月
趣 味 野球、スポーツ観戦、マラソン
モットー 時間を守る生活をする



役職、氏名 取締役会長 田村 剛
入社年月日 平成7年1月
趣 味 スポーツ（球技、ジョギング）、
 読書
モットー 誠実



役職、氏名 取締役専務 中村 佑志
入社年月日 平成20年1月
趣 味 パソコン
モットー 因果応報

社員紹介（営業部）



役職、氏名 営業部部长 本田 充
入社年月日 平成13年1月
趣 味 スポーツ（野球、ウォーキング）
モットー 初心忘るべからず



役職、氏名 営業部部长 村田 佳正
入社年月日 平成7年9月
趣 味 スポーツ(ラグビー)
モットー 一期一会



役職、氏名 営業部課長 大西 洋
入社年月日 平成8年1月
趣 味 飛行機に乗ること、見ること
モットー 笑顔



役職、氏名 営業部課長 中川 礼年
入社年月日 平成16年1月（はと観光）
趣 味 旅行、ドライブ
モットー 健康第一



役職、氏名 営業部主任 池本 珠生
入社年月日 平成29年3月
趣 味 料理
モットー 一生懸命

社員紹介（営業部）



役職、氏名 営業部主任 小笠 智将
入社年月日 平成16年8月
趣 味 映画鑑賞、スポーツ
モットー 自己流



役職、氏名 営業部 辻田 敬介
入社年月日 令和7年2月
趣 味 野球、釣り、バイク
モットー 一期一会



役職、氏名 大洲営業所所長 継野 隆
入社年月日 平成5年3月
趣 味 釣り、映画鑑賞
モットー 平常心

社員紹介（カウンター）



役職、氏名 カウンター部長 一色 佳世
入社年月日 平成3年4月
趣 味 山登り、城巡り
モットー くじけず、めげず、落ちこまず…



役職、氏名 カウンター 窪田 絢巴
入社年月日 令和5年10月
趣 味 ショッピング
モットー なるようになる



役職、氏名 カウンター 田中 瑠花
入社年月日 令和7年8月
趣 味 料理
モットー 何事もポジティブに、笑顔で



役職、氏名 カウンター 島田 司
入社年月日 平成24年1月
趣 味 音楽鑑賞、晩酌（ワイン）
モットー 穏やかに軽やかに

社員紹介（総務部経理課）



役職、氏名 総務部部長 松本 邦彦
入社年月日 昭和62年8月
趣 味 乗り鉄・町あるき
モットー 元気で仲良くしっかりと



役職、氏名 総務部経理部長 戸田 佳代
入社年月日 平成9年4月
趣 味 城巡り
モットー 笑顔



役職、氏名 総務部経理課 池田 浩子
入社年月日 令和7年3月
趣 味 音楽鑑賞
モットー らしくあれ

社員紹介（参与）



役職、氏名 参与 徳本 伸三郎
入社年月日 平成10年5月
趣 味 健康にゴルフ、ポケ封じにマージャン、
囲碁・将棋
モットー 誠実



役職、氏名 参与 川越 俊二
入社年月日 平成8年1月
趣 味 ゴルフ
モットー 笑顔



役職、氏名 参与 竹口 久敏
入社年月日 平成28年7月
趣 味 ウォーキング
モットー 継続は力なり

社員紹介（名誉社員OB）



役職、氏名 名誉社員（OB） 浜野 勝久
入社年月日 昭和56年10月
趣 味 サッカー、釣り
モットー 人生恥多きを楽しく明るく



役職、氏名 名誉社員（OB） 中岡 優
入社年月日 平成4年3月
趣 味 仕事
モットー 仕事が一番



役職、氏名 名誉社員（OB） 中村 真知子
入社年月日 昭和46年10月
趣 味 旅行、ゴルフ(少々)
モットー 一期一会を大切に



役職、氏名 名誉社員（OB） 熊本 忠
入社年月日 昭和47年2月
趣 味 ゴルフ
モットー 前進あるのみ



役職、氏名 名誉社員（OB） 武市 悟
入社年月日 昭和53年4月
趣 味 温泉
モットー 親切

[昭和38年～昭和50年]

事務所の移りかわり

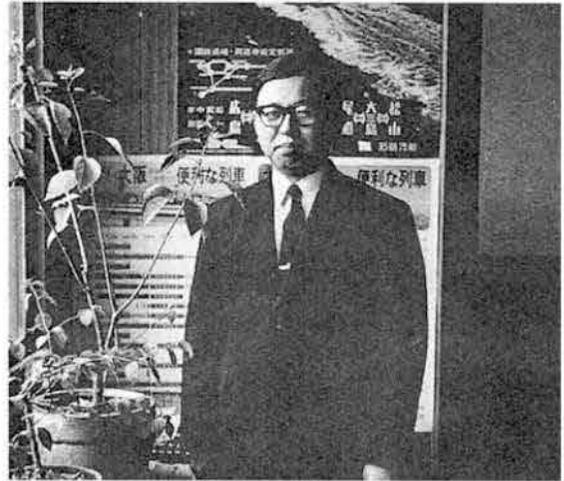
S38.4～39.9

松山市湊町4丁目



S39.4～46.4

松山市湊町4丁目
中道陳列店ビル2階



S46.5～50.3

松山市道後一万町(上一万)



[昭和50年]

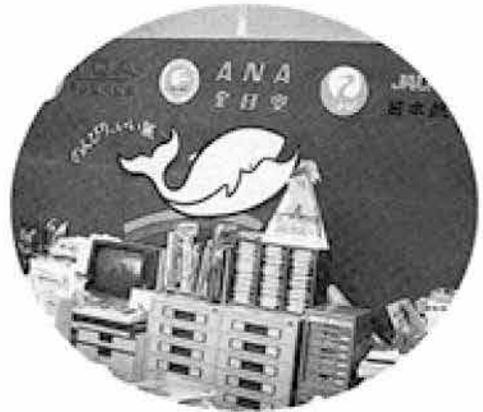
S50.4 ~ 58.5 松山市勝山町1丁目 青木第一ビル



[昭和58年]

S58.6~

松山市勝山町1丁目
日本交通社ビル



H3.1 本社改装



1 F (カウンター)



2 F (営業部)



3 F (悠々倶楽部顧問団)

平成17年～



カウンター



お客様駐車場



2F 営業部



1F カウンター



[昭和55年]

ハネムーンセンター

S55.2~H12.12

松山市湊町3丁目

銀天街ニチイ前



[昭和64年～平成6年]

S64.1 改装 銀天街トラベルプラザ



H6.1 銀天街トラベルプラザに改称



[平成4年]

大洲支店 H4年4月～H30年3月 移転



[昭和62年]

S62年1月～H12年12月 迎賓館ハネムーンコーナー



旅

思い出のアルバム

[昭和32年～34年]



32年3月 永代寺高野山参拝団



林芙美子文学碑



32年5月 初めての主催旅行で南九州へ



34年7月 自老駅からアイヌ記念館まで馬車で



34年6月 添乗中の相原社長(後列左)と町田所長(前列右)



34年7月 黄硫山にて



34年5月 松山観光団秋吉台へ



大阪駅を後に全九州観光の旅に出発



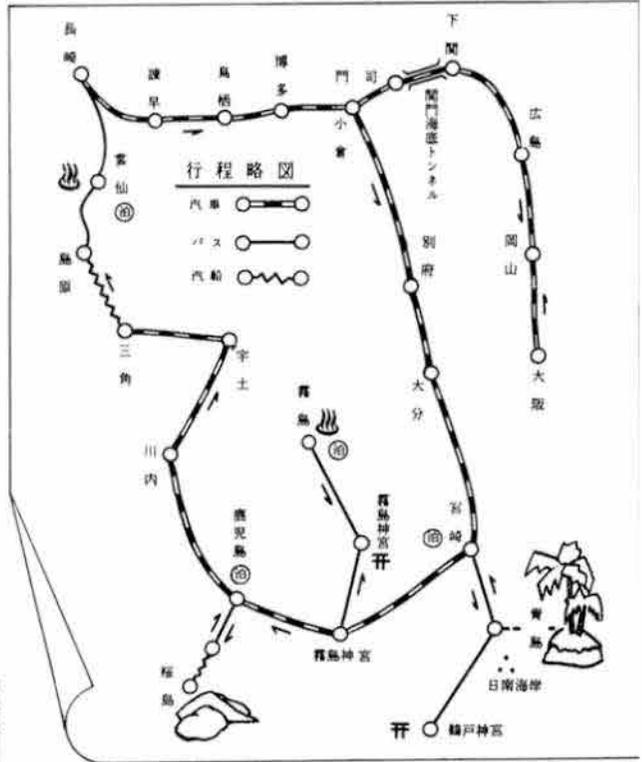
大阪駅コンクールに集合した城東友の会会員



宮崎駅頭で歓迎の花束を受ける加瀬支部長



さあ お座敷観光列車に乗込み



車内のご自慢大会に見事入賞のお客様

団体優勝者



個人優勝者



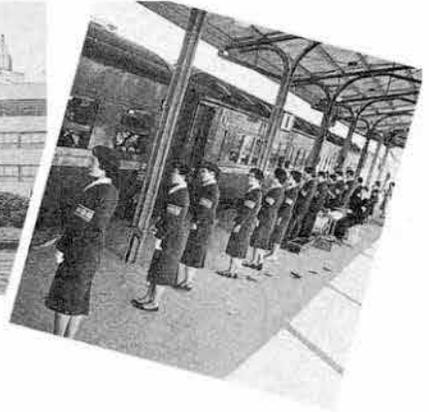
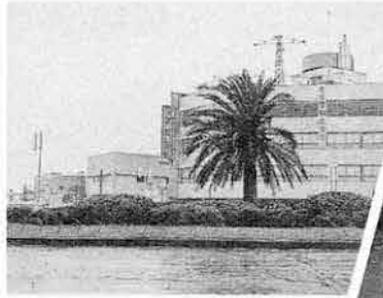
車窓より 日豊線の風光をのぞむ



鹿兒島本線を走る特別仕立貨切観光列車

33年6月 全九州の旅 (大阪本社扱い) 本社は大口団体を数多く扱い大阪旅行業界の雄であった。

[昭和33年]



フェニックス茂る宮崎市街

整然とした宮崎交通のガイドさん達の歓送風景



旧官幣大社霧島神宮に参拝するお客様



全員宿泊した霧島温泉 林田旅館



バスの窓より望む霊峰高千穂の峰



林田旅館のベランダよりのぞむ国分平野と桜島



33年6月 全九州の旅(大阪本社扱い) 駅ではバス会社の楽隊が出迎え、道路はほとんど舗装されていない。

[昭和34年]



“さあ元気でいきましょう”とお座敷列車に乗り込んで



希望に胸躍らせて大阪駅での集合



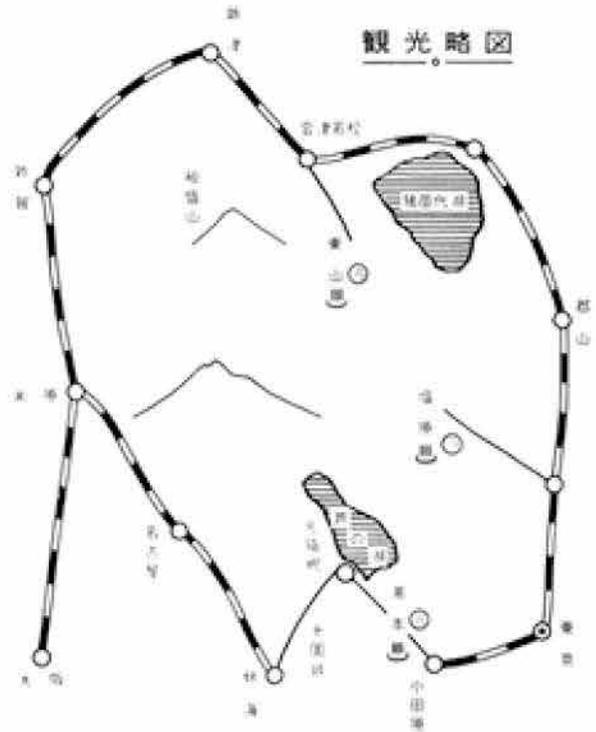
特別仕立お座敷観光列車



せまい車中もおどどつてうたって



ノド自慢スナップ



断崖せまる日本海を眺める

のど自慢晴れの入賞者

衆望に応えて団体賞に輝く



34年6月 東北、関東温泉めぐり(大阪本社扱い)
なつかしいSL列車、特別仕立のお座敷観光列車は大好評だった。



35年7月 北海道十和田湖観光旅行(大阪本社扱い)大函にて



アイヌ記念館にて

◎コースのあらまし

七月二十一日	大阪駅発	二二、四〇分	御座敷列車で一路北へ……
二十三日	大館発	一七、二〇	観光バスで大滝温泉宿泊
二十四日	大滝温泉発	七、三〇	観光バスで十和田湖遊覧
	青森へ発	一七、四〇	連絡船で函館へ……
	函館発	二二、二〇	御座敷列車で……
二十五日	札幌着	七、一〇	市内遊覧をして
	札幌発	一四、〇〇	温泉旅館にて宿泊
二十六日	定山溪着	九、一七	再び列車で……十川駅を経て
	札幌発	一七、〇〇	大雪山麓の幽邃境に宿泊
二十七日	層雲峡温泉着	七、三〇	再び上川駅を経て美幌峠、屈
	全発	一八、〇〇	斜路湖畔をドライブして
二十八日	弟子屈温泉着	一八、〇〇	温泉旅館で宿泊
	全発	一八、〇〇	摩周湖見物して原始林を通り
二十九日	釧路着	一八、〇〇	「まりも」の阿寒湖で昼食をし
	白老着	九、三〇	て湖上遊覧
	洞爺湖温泉着	一八、〇〇	再び臨時列車で一夜を過し
三十日	全発	二二、三〇	アイヌ部落で歌と踊を観賞し東
三十一日	函館発	一三、三〇	洋一の登別温泉大浴場を見物し
	青森発	二二、三〇	美しい湖畔の温泉旅館宿泊
八月一日	塩原温泉着	一六、三〇	臨時列車で函館郊外の湯の川温
	全発	一四、〇〇	泉にて宿泊
二日	全発	一四、〇〇	函館市内見物後再び連絡船で……
三日	大阪駅	六、三三	夜行列車中泊
			西那須野駅より溪流の塩原温泉
			へ……最後の夕を楽しんで宿泊
			名残りの一夜を車中に明して東
			京を経て
			目出度解散

12泊13日という今では考えもつかないような長期旅行



36年3月 伊勢神宮



38年6月 城島高原でそうめん流しを

[昭和40年～47年]



40年9月 大街道、湊町の商店主様のファンが多かった(谷川岳にて)



41年2月 城山で今西郷(木原老人)さんの説明を聞く



42年6月
本社と合同社員旅行で白浜へ



44年9月 松山市母子会南九州へ



45年 万博で松山市母子会役員の方と



46年5月 初めての海外旅行台湾へ



47年5月 事務所前で

[昭和48年～52年]



48年6月 本社中出さんと今治へ



49年2月 大栄ハウスシンガポールツアー



50年4月 新築移転パーティー



50年6月 事務所で宮内、外田君



51年5月 佐波旅行



52年12月 社員旅行で香港、マカオへ



52年8月 社員旅行で西長戸リゾートホテルへ

[昭和53年～54年]



53年2月 社員研修で嫁いらず観音へ



53年12月 社員旅行で鹿児島へ



53年12月 九面太鼓に迎えられる



53年12月
長崎鼻にて



54年12月
社員旅行で韓国へ



54年11月 女子社員はハワイへ



54年12月 後列 宮内、熊本、松田、村上 前列 土井、楠本、武市、湊君 (ソウル)

[昭和55年]



55年1月 新年会 中村社長宅



55年1月 新年会 村上、松本氏



後列 影浦、松本、熊本、朝山、村上、中村
中列 宮内、湊、楠本、武市、松本、土井
前列 松田、中村(妻)、中村、中村(父)、町田



55年2月 事務所



55年8月 夏の制服はアロハシャツ

[昭和55年～56年]

創業 25 周年祝賀会 55 年 3 月 7 日 (ホテル奥道後)



祝辞をいただいた青木明社長



吉海スタンプ連盟役員による鏡開き



パーティ会場



松商岡石先生、つるや常務岸君と



56 年 7 月
社員旅行で宮崎へ
(鶴戸神宮)



56 年 7 月 宮田、平岡、影浦、町田、中村、湊君 (堀切峠)

[昭和56年～58年]



56年7月 (宮崎観光ホテル)



56年7月 (平和台)



56年8月 韓国陶芸の旅、人間国宝、柳海剛先生と



57年2月 世界最高令者、泉重千代翁を訪ねて



57年3月 韓国へチャーター船を運航



58年1月 交友会主催 社員研修(寿苑)



58年6月 本社ビル完成 白石、仲嶋、松本、木原君



58年6月 楠、影浦、宮田、中村さん



58年6月 事務所



58年6月 事務所



58年8月 オフコン導入(コース表、見積書同時プリント)



58年12月 身障者出合いの集いに協力(寿苑)

[昭和58年～60年]



58年12月 社員旅行で別府へ(杉乃井ホテル)



58年12月 社員旅行ボーリング大会



59年9月 愛媛県旅行業交友会で別府へ



60年2月 愛媛県旅行業協会創立20周年記念祝賀会

[昭和61年]

創業 30 周年祝賀会 61 年 2 月 13 日 (道後国際ホテル大和屋)



町田創業者



中村社長



奥村協力会会長



おいらん姿の芸妓さんも



ピンカマトリオ?





一六 玉置会長



町田創業者に花束



メインテーブル



優勝 渡部 厚様



受付風景

10/18~25日		10/19~25日		10/19~25日	
張玉	40	72	1.2	小林	47
一	41	81	9.6	山本	47
井	49	81	9.6	貞雄	47
田	45	105	32.6	池内	42
中	41	95	22.8	安永	42
本	40	83	10.8	長壽	42
小	27	76	3.6	河野	42
川	27	82	9.6	白石	42
原	27	76	3.6	田原	42
仲	40	82	9.6	有	42
信	37	81	8.4	長野	41
色	44	73	20.4	成	41
山	43	70	16.8	河	41
田	44	84	10.8	山	41
高	41	77	3.6	栗	41
藤	40	83	9.6	美	41
加	40			野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41
				野	41
				山	41
				口	41
				上	41

[昭和61年~62年]



北野異人館
61年12月 社員旅行で京阪神へ



湊川神社



62年12月 社員旅行 長崎平和記念像



オランダ村



62年12月 旅行業交友会で久米島へ



63年 6月 日本交通社同窓会(大阪にて)



63年 12月 社員旅行で東京へ



平成元年 12月 社員旅行で北海道へ

[平成元年～平成2年]



平成元年 社員旅行 十八番 こうもり傘の修繕



哺乳瓶でビール飲み競争



昭和新山にて



登別温泉にて



景浦さん
永い間ご苦勞様でした

平成2年6月



平成2年10月 東京営業所開設パーティー



平成2年12月 社員旅行で沖縄へ

[平成2年]

創業 35 周年 平成 2 年 3 月 18 日 感謝の船 (宮島)



奥村武久協力会会長



協力会 総会



来賓の皆様で鏡割り



社員全員集合



コメディアン人見じゅん



久万山五神太鼓



船内のお客様



船いっぱいのお客様



宮島の休憩所



宣伝カー(エスカルゴ)

[平成3年～平成4年]



平成3年1月 関西汽船マージャン大会



平成3年6月 鎌倉先生とナイアガラへ



平成3年12月 社員旅行でベナン、クアラルンプールへ



平成4年3月 ハワイへチャーター便運航 (新装なった松山空港)



平成4年6月 大洲支店開設パーティ





JAL 松山—大阪—仙台線開設
平成4年7月 県下旅行者の皆様にご参加を頂いて東北研修旅行を



平成4年8月 愛海協ソフトボール大会



平成4年11月 社員旅行で中国へ



天壇公園



万里の長城



平成5年7月 協力会総会



平成5年12月 社員旅行で北陸へ 東尋坊にて



新入社員6名のごあいさつ



カップラーメンとビール一本



頑張れ！頑張れ！



村上参与ご満悦



平成6年8月 愛海協ソフトボール大会



優勝カップは借り物？



平成6年9月 愛媛県旅行業協会 30周年記念旅行
チャーター便でソウルへ



平成6年11月 事務所で



平成6年11月 コンピューター見学者への説明



平成7年1月 悠々倶楽部(顧問団)誕生

[平成7年]

創業 40 周年祝賀会 平成 7 年 3 月 16 日 (ホテル奥道後)



皆様をお迎えする社員



浜野新社長、町田創業者、中村会長



孫娘、武智社員より町田創業者へ花束



こんなに大勢のお客さまにお越しいただいて



久万山五神太鼓



パーティ風景



氷の彫刻も華を添えて



ゴルフ大会表彰式



スゴイ商品？大丈夫ですか

[平成7年]



平成7年4月 ソウル便就航記念祝賀会



平成7年5月 就航記念ゴルフ(アジアナCC)



平成7年9月 めったに打てないショット?
(アジアナゴルフ大会)



平成7年10月 富士論理研修所で



平成7年7月 愛媛旅行業協同組合総会

[平成8年]



平成8年1月 新年会



社長!! 何のお話ですか



平成8年3月 アイテムえひめオープン記念



平成8年11月 ウィーンにて



平成8年11月 ルーマニア魔女狩り劇

[平成9年～平成10年]

平成9年12月 社員旅行で北海道へ



友ちゃん滑らないでネ(第1班)



光田、田村君大丈夫?(第2班)



昭和新山(第2班)



平成10年12月 社員旅行で湯原温泉へ 浴衣もキレイですネー

平成11年12月 社員旅行でバンコク・プーケットへ



皆んな何がそんなに嬉しいのですか



水上マーケット



田村君何を持っているんですか



OBを打つと子供が川へ飛び込んでボールを拾ってくれるんです



バンコク、エメラルド寺院(第1班)

[平成12年]

創業 45 周年 平成 12 年 3 月 26 日 感謝の船 (大三島)



そろいのハッピーでお迎え



話に花が咲いていますが...

平成 12 年 12 月 社員旅行 玉造温泉



出雲大社 (第 2 班)



楽しい宴会出来たかナー (第 2 班)



皆美別館で (第 1 班)



平成 12 年 12 月 愛海協忘年会

平成 13 年 12 月 社員旅行



宮古島 (A 班)



ハワイ (B 班)



13 年 9 月 経営研究会



13 年 7 月 倫理法人会

平成14年12月 社員旅行高知



西条・アサヒビール工場見学



土佐御苑宴会



高知県旅行業協同組合 20周年
橋本大二郎知事御夫妻



OEC10周年記念パーティ



平成14年10月 (社)倫理研究所「職場の教養」(130万部発行)表紙に当社が掲載されました。

[平成15年]



平成 15 年 9 月 いもたき会



平成 15 年 7 月 倫理法人会 15 周年

平成 16 年 3 月 中国西安研修旅行



中国のビールおいしいですか



中国西安・西龍寺「空海記念碑」



兵馬俑坑



西龍寺のしだれ桜が満開でサイコー

平成16年12月 社員旅行 ランカウイ・バリ



VIVA ランカウイ!



プールのサイドでひとやすみ



マレーシア独立記念碑にて



ランカウイのシンボルをバックに



イスタナ ネガラ 国王の公邸です

[平成17年]

創業 50 周年 平成 17 年 3 月 27 日 感謝の船 (宮島)



17年3月 フェリーくるしまをチャーター



お楽しみ抽選会



社長の指示にも熱が込める



平成 17 年 4 月 お花見会



平成 17 年 5 月 中国チャーターシルクロードの旅



平成 17 年 11 月 「飛鳥・釜山クルーズ」

[平成17年]

創業 50 周年祝賀会 平成 17 年 12 月 6 日 (松山全日空ホテル)



加戸知事ご夫妻と合唱



らくちゃんの司会と二宮典子の歌



会場いっぱいのお客さま (430名)



浜野会長と中岡社長



社員で記念写真ハイポーズ

[平成17年]

打上げ会 & 野沢さん送別会 (国際ホテル松山)



みんな笑顔で好成绩



良く頑張ってくれたネ

[平成18年]



坊っちゃん劇場オープン



陶街道五十三次

社員旅行 (南紀白浜)

[平成19年]



田村常務上機嫌



白良荘グランドホテル



何を踊ってるんですか

[平成20年]

育樹祭（砥部町役場）



皇太子殿下をお迎え



ご案内



お見送り

社員旅行（湯村温泉）

[平成20年]



湯村温泉（夢千代像）



光ちゃんよく似合うヨ
朝野家



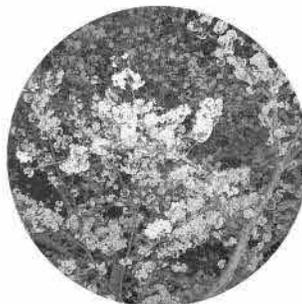
元伊勢龍神社へ参拝

社員お花見会（道後公園）

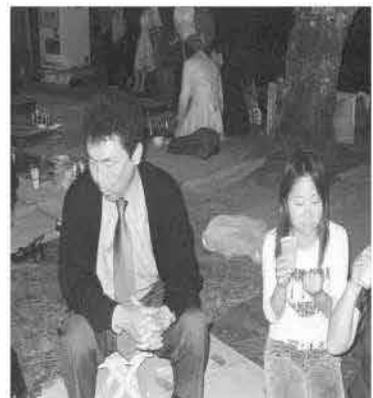
[平成21年]



焼けすぎてませんか



桜も満開



ハイポーズ

[平成22年]

社員旅行（唐津）



名護屋城跡



唐ワン君



汐湯旅館（唐津）

協力会総会

[平成23年]



社員もリラックス



情報交換も？



花ゆづき（道後温泉）

社員旅行（湯本温泉）

[平成24年]



赤間神宮



錦帯橋



大谷山荘

[平成24年]

園遊会に招かれて



赤坂離宮にて



砥部町長退任

[平成25年]



お世話になりました。

〇〇を退めたものの就職難で…元の仕事に戻りました。
昔ながらの旅行屋さん(創業昭和31年)

親切なお客さまへ

営業手伝い(代表取締役)
中村 剛志
NAKAMURA TSUYOSHI

団体旅行、バック旅行の
専任の行先管理係の営業士1名

新日本交通社

本社 松山市題山南1-18-10(日本交通ビル)
営業 番(089)831-8060(代) FAX (089)841-8211
留番 090-4472-8200

初心忘るべからず
(S46社長就任時)



日本交通社復帰
(なに—この名刺)

愛媛朝日TVコメンテーター
(毎週火曜日)

[平成25年]



松商東京支部総会
同窓会長として出席
(同級生と一緒に)



松商61会 慰労会
(国際ホテル松山)



お疲れ様コンベ
(高原ゴルフクラブ)

[平成26年]

全日本愛瓢会砥部大会



秋篠宮殿下（名譽総裁）を
お迎えして



砥部町文化会館



見事なひょうたん

[平成26年]



鍵山秀三郎さんをお迎えして
愛媛県倫理法人会会長として



一宮グループ水会での講演



愛媛朝日テレビで掛布氏と

[平成26年]

〈愛媛新聞 2014年11月6日 掲載〉

秋の勲章 13人に伝達 県庁

2014年秋の勲章伝達式が5日、県庁であった。地方自治や保健福祉、選挙管理の分野で功績のあった13人を授けた元砥部町長の中村時広知事が勲記と勲章を手渡した。

伝達は知事推薦の受章者のうち総務省関係が9人、厚生労働省関係が4人、それぞれ小経章以下と双光章以下が対象となった。

県によると、今回の授章は、今年度の愛媛県発展のために力を発揮した。中村知事は、今後一層の精進を誓うと謝辞を述べた。中村知事は、今後は「栄誉を身に余る光栄とし、一層の精進を誓う」と謝辞を述べた。中村知事は、今後は「栄誉を身に余る光栄とし、一層の精進を誓う」と謝辞を述べた。中村知事は、今後は「栄誉を身に余る光栄とし、一層の精進を誓う」と謝辞を述べた。

秋の勲章伝達式で謝辞を述べる中村剛志さん(中央)＝5日午前、県庁

愛媛新聞エリアサービス砥部

[平成25年]

平成 25 年 8 月 JATAソフトボール大会



見事準優勝



やっぱり慰労会

日本食研台中営業所開設（大沢会長と一緒に）[平成26年]



台北支店でのミーティング



台中営業所パーティ



夜店散策（台中市）

平成 26 年 12 月 社員旅行（沖縄）

[平成26年]



愛媛の塔



リザンシーパーク谷茶ベイ



琉球村

[平成27年]

平成 27 年 3 月 第 50 回 えひめ ハッピー ツアー 杯 ゴルフ 大会



いつも好評表彰式



優勝者 川口さん



ミーティング

平成 27 年 12 月 社員旅行 (山陰)

[平成27年]



出雲大社でお願い？



玉造温泉 白石家

山岡栄先生第 84 回慰霊祭 (台湾、台中市)

[平成27年]



昭和 5 年台湾に渡り、農林国民学校に奉し教導に専心。
5 月 9 日朝来の豪雨で増水した川に取り残された生徒を救助するため濁流に飛び込み殉死した。
現在も慰霊祭が現地で行われている。

[平成27年]

創業 60 周年祝賀会 平成 27 年 3 月 4 日 (松山国際ホテル)



[平成28年]



平成 28 年 8 月 社内にて全員集合

平成 28 年 12 月 社員旅行（北海道）



サッポロビール園



大沼公園



函館花びしホテル



函館五稜郭



眠ります村田部長



有珠山頂

[平成29年]



平成 29 年 1 月 新年会



平成 29 年 4 月 雨で屋内花見
(ANAクラウンプラザホテル松山)

[平成29年]



平成 29 年 8 月 JATAソフトボール大会優勝？

平成 29 年 12 月 社員旅行（別府）

[平成29年]



鶴見岳



ハイ、こっち向いて

[平成29年]

平成 29 年 2 月 日本交通社協力会総会（大和屋本店）



総会風景



懇親会



偶然通りかかった中村知事 W中村で一言どうぞ

[平成30年]

平成 30 年 3 月 第 55 回えひめハッピーツアー杯ゴルフ大会（大和屋本店）



表彰式（愛媛プロレス）

[平成30年]



平成 30 年 4 月 女子社員結婚退職祝い（国際ホテル松山）



[平成30年]



平成 30 年 8 月 JATAソフトボール大会後の打ち上げ

[令和元年]

令和元年 8 月 第58回
えひめハッピーツアー杯
ゴルフ大会（大和屋本店）



令和元年 8 月 JATAソフトボール大会 バッター光田



表彰式

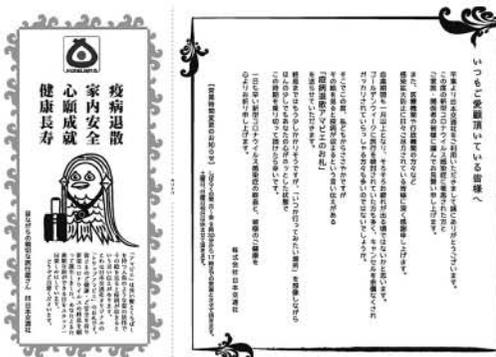
[令和2年]



コロナ禍でパンフレット消える



コロナ禍中です！



アマビエ御札



コロナに負けないぞ

[令和3年]



令和3年12月 コロナ禍でも頑張るぞ (松山東急REIホテル)

[令和4年]



令和4年1月19日
愛媛新聞「わが社の首脳陣」



㈱日本交通社
光田 秀之 代表取締役社長



令和4年7月 愛媛ジャーナルにて



[令和5年]



令和5年4月 社内風景 アフターコロナへ

[令和7年]



令和7年4月 道後公園花見 私たちだけでした

笑う門には 福来たる

（株）日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

つみかさね

一球	一球	の	つみ	かさ	ね
一打	一打	の	つみ	かさ	ね
一歩	一歩	の	つみ	かさ	ね
一坐	一坐	の	つみ	かさ	ね
一作	一作	の	つみ	かさ	ね
一念	一念	の	つみ	かさ	ね
つみ	かさ	ね	の上	に	
咲く	花				
つみ	かさ	ね	の	用	意
に					
熟	する	実			
それは	美しく	尊	尊	人	
直	の	光	を	放	つ

夏休み企画展 つみかさねのこと

「真民さんからのメッセージ」

令和7年7月5日～10月5日

坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

暑い日の乗り切り方

近年、猛暑日や酷暑日が増え、従来の暑さ対策では対処しきれない状況が増えています。しかし、夏の気象状況に対して暑さをしのぐ心の持ち方は昔も今も変わらないのかもしれない。

人の力では変えられない天候に対して心も体も順応することが大切です。暑さも寒さも、雨も風も、自然の一部として受け入れ、ゆったりと過ごしましょう。自然の変化に順応することで、心の安定を保つことができます。

例えば、暑い日に外で仕事をしている時には、我慢をして作業を続けると、体調を崩しかねません。そんな時には「今は休んだほうが良い」と状況を受け入れ、無理をせずに涼しい場所で休息を取ることが大切です。

どんなに科学が進歩しても、自然を完全にコントロールすることはできません。私たちは、自然との共存を心がけ、謙虚な気持ちを持ちながら日々の業務に取り組むことが求められます。

自然との調和を大切にしながら、日々の生活を送りましょう。

◆自然に対する畏敬の念を

持ちましょう

「職場の教養」より

高千穂峡（宮崎県高千穂町）

阿蘇山の火山活動によって噴出した火砕流が冷え固まり五ヶ瀬川に侵食された柱状節理の断崖がそそり立つ。高さは100mに達し、約7kmにわたって続く自然の造形美を堪能できる名所だ。清らかな水が岩肌を流れ落ちる「真名井の滝」は、日本の滝百選に指定された名瀑でボートから見上げると滝の水が降り注ぎ、迫力とともに17mの落差を体感できる。遊歩道も整備され、緑に包まれながらの森林浴が楽しみめ心身ともに癒やされる。



日本再発見！



道後では
足湯ながらも

混浴に

健



皆様のお陰で70周年を迎えることができました。
これからも「昔ながらの親切な旅行屋」さんと頑張ります！
（創業 昭和31年8月1日）

旅ひとすじ

創業70周年記念誌

令和7年(2025)8月1日発行

編集・発行 株式会社日本交通社
〒790-0878 愛媛県松山市勝山町1丁目18-10
TEL (089) 946-3911

印刷 第一印刷株式会社
〒790-0963 愛媛県松山市小坂1丁目7-14
